

令和七年度 冬季 鎌倉俳句&ハイク

期間 令和七年十一月一日〜令和八年一月末

選者 星野椿、星野高士

投句数 八八四句

特選三句

天

人生のパズルは解けず冬隣

神奈川県藤沢市 中基 ちかよ

地

寄り道も仏の道や福寿草

神奈川県茅ヶ崎市 宮永 武彦

人

凧揚げがトンビと競う由比ヶ浜

神奈川県鎌倉市 中川 聡美

入選句

一般の部(二十句)

頼朝の武運享けたる破魔矢かな

神奈川県鎌倉市 会田 雄一

実朝忌花を供へる人のあり

神奈川県横須賀市 青木 香文

喧騒を逃れ小春の建長寺

富山県射水市 赤江 直人

鎌倉や五山に響く除夜の鐘

神奈川県鎌倉市 阿部 史江

段葛師走の風を一直線

神奈川県相模原市 荒井 篤

除夜の鐘願いひとつを胸に抱き

静岡県榛原郡吉田町 大島 みほ

漱石の聞きし鐘の音文化の日

神奈川県横浜市 金子 きよ

冬暖か家出娘の帰宅かな

神奈川県川崎市 後藤 明日香

短日の谷戸に流るるチャイムかな

神奈川県大和市 小林 心

清方の美人画に逢ふ冬紅葉

神奈川県横須賀市 鈴木 崇

よく晴れて石路の花咲く建長寺

神奈川県横浜市 鈴木 基之

鎌倉や路傍に石路の花の黙

埼玉県川口市 高梨 孝

年の瀬の鎌倉野菜求めけり

神奈川県藤沢市 武 正義

薄日差す道のしづけさ梅探る

神奈川県横浜市 田阪 武夫

材木座初東雲の波しづか

神奈川県横浜市 田村 直美

遠き日のわが歌屑よ実朝忌

長崎県長崎市 林田 響

ひと振りの塩で整ふ七日粥

神奈川県藤沢市 三背 孝子

口あたりまるやかな鉛冬ぬくし

東京都稲城市 村田 文佳

外套を右に持ち替へ段葛

東京都小平市 室伏 遼太

大仏は眠さうにして冬暖か

東京都新宿区 山口 大輝

子ども部(十句)

鶴岡枯れ木に結ぶ凶みくじ

千葉県市川市 春日 瑛太

江ノ電のまどに広がる冬銀河

神奈川県鎌倉市 駒崎 陽

だいぶつはクリスマスにはなにしてる

千葉県船橋市 高澤 悠大

冬電車上着いらすの笑い声

千葉県市川市 舘野 あかり

北風の帰りの電車夢の中

千葉県市川市 藤井 美嘉

やまねむるごせんぞさまとはなすとき

静岡県駿東郡清水町 藤田 雫

冬風よ班別行動急ぎ足

千葉県市川市 本井 仁大

おおみそかねむいのたえてもうちよつと

神奈川県鎌倉市 山崎 瑛斗

大仏が冬の寒さで渋い顔

神奈川県鎌倉市 吉田 潤

冬の浜つめたい砂がぬれていく

神奈川県鎌倉市 吉田 芙季

(順不同)

鎌倉の四季折々を十七文字に・・・

鎌倉俳句&ハイク実行委員会

<https://www.kamakura-haiku.com/>

<事務局>

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団内

〒247-0056 鎌倉市大船 6-1-2

TEL 0467(30)9237

